

おとずれ

2021年9月469号

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>

『教皇フランシスコのメッセージに思う』

教会委員長 山本一孝

いろいろな考え、思いの賛否の中で東京オリンピック「感動で一つになる」が開催されました。厳しい練習とたくさんの方の協力でメダル獲得できた方、できなかった方の感謝の涙。スケートボードで失敗し涙している選手を競技者みんなが担ぎ上げている情景。クライミングのメダル3人がお互いを讃えて泣いている姿。陸上で交差し転倒した2人が肩を組みながらゴールする場面。様々な感動を与えてくれました。教皇フランシスコは「感染が拡大している中での東京オリンピックは、希望のしるしであり、健全な競争を特徴とする普遍的なきょうだい愛の象徴です」そして、「神が大会関係者とアスリートのみなさん、この大きなスポーツの祭典のために協力している、全ての方々を祝福してくださいますように」と祈っており、感染については、感染者、医療従事者、感染関係による困窮者へも世界に向け祈っています。考え方、思いの違いは、相手を批判し分裂することではなく、その多様性を受け止め、互いに思いやり、憐れみの心で接し、赦しあう心でありたいと思うのです。

また、日本において大洪水等の天災が頻繁に起きており、世界的にも異常な気候変動が発生して



います。現教皇はイエズス会の司祭にもかかわらず、アシジの聖フランシスコを名付けられました。アシジの聖フランシスコは、エコロジー分野に携わる人の守護聖人とされ、傷つきやすい被造物と社会的な弱者を思い遣って生きたことで知られています。教皇フランシスコの回勅2015年に発表された『回勅 ラウダート・シ』は、「私の主よ、あなたはたたえられますように」（ラウダート・シ、ミ・シニョーレ）というアシジの聖フランシスコの詩『太陽の賛歌』の一節からとられています。回勅は「わたしたちの後に続く人々、また今成長しつつある子供たちのために、わたしたちは一体どのような世界を残していきたいのでしょうか？」という問いかけが中心となっています。今私たちはこの「地球の叫び声」に対して、教皇はわたしたちの地球がその本来の美しさを取り戻し、被造物が神の御計画のもとに再び輝けるよう、国々の責任だけではなく、みなさん一人一人がそれぞれの文化と経験各自の率先した行動や能力を通し協力することを望まれています。

聖ヨハネ・ボスコは数々の不思議な預言的な夢を見えています。その中で、先頭に立つ教皇の船（教会を示している）がご聖体と聖母が載っている柱に錨（いかり）をつなぎ留めて、難を逃れている場面があります。教皇はその時代の嵐においての「羅針盤」です。この時代に選ばれた教皇フランシスコのメッセージに耳を傾け、富士吉田教会という小さな船でみなさんと共に荒波を乗り越えて行きましょう。

敬老のお祝い

典礼、財務記録担当 江守 香代子

まずはお詫びから。

富士吉田教会では75歳を迎えられた方々に「敬老のお祝い」のご案内をさせていただいております。ところがショックを受けられる方々もおられ、大変申し訳なく思っております。以前はもっと年齢を低く設定し、お祝いをしていたようですが、当時婦人部で活躍されていたMさんが、ご自分の年齢に近くなると1年、また1年と引き延ばされ、現在の75歳に落ち着いたほほえましい経緯があったとお聞きしたことがあります。

今日（こんにち）の皆さまは、本当に若々しく、はつらつとされていて、わが身もかくありたいと思う今日この頃。どうぞこの先も私たちをしっかりと導いてください！

「敬老会？ケロケロかいみたいだね。おもしろそう。やろう！やろう！」

これは、今は亡きジョルジョ フェラーラ神父様が赴任された年の敬老の日のエピソードです。子どものように無邪気にお祝いを喜ばれた神父様の笑顔が目につかびます。ミサ後、外国籍の方々も含め、多くの信徒の方々が参加され、婦人部の方々がご用意くださったお祝いの茶話会が催されました。その後も、各神父様を囲んで、信徒の方々の余興、皆様の近況報告もあり、その年ごとに楽しいひと時を過ごすのが常でした。皆様の歩んでこられた人生の一端に触れ、私など感じ入ることばかりの日でした。

昨年来の感染症のため、本年も茶話会は行うことができません。この感染症のため、教会でミサに与ることを自重しておられる信徒の方々も多いと思います。ただ、今のところ9月19日の主日のミサの中で、敬老のお祝いをできればと思っております。この機会に本年着任された千葉神父様の司式のもと、多くの方々にミサに与っていただければ嬉しいです。

おひとりおひとりの祈りに支えられ、今日の富士吉田教会があることを感謝しながら9月19日を迎えたいと思っております。心からの感謝を込めまして・・・

追伸：感染状況により、ミサが中止のこともあります。その際にはご連絡いたします。



第2回山梨地区宣教司牧委員会報告

7月25日（日）14時 参加者16名

1. 司祭代表挨拶

司祭代表の白木神父様から、暑い日が続くのでコロナ予防に加え熱中症にも留意して活動していくよう挨拶があった。

2. 各部門の分科会から活動計画と予算

＊自ら祈る力を育てる部門・・・コロナ禍での各小教区の典礼の状況について意見交換した。「祈る力を育てる」とは典礼への取り組みだけではないので、もっと広く「祈る力を育てる」ということを今後のテーマにしていきたい。

今年度の活動予算は特に予定はありません。

＊信仰を伝える力を育てる部門・・・各小教区の教会学校の状況報告をした。ライン活用の事例報告や外国籍子女の熱心な参加や「こじか」についての取り扱い等について意見交換した。子供の少ない小教区からは、聖書の分かち合い等の報告があった。コロナ禍で予算を立てた活動までは計画できていない。

＊神の愛を証しする力を育てる部門・・・「証しする力を育てる」とは何かをしっかりと考えることが必要。ライフサポート、子供サポート、や地域の子供サークル、老人ホームなどコロナ禍でも働ける場を探す事が大切。コピットとしては2022年3月に南相馬と連携して講演会と物産展を予定したい。

3. 今後の日程

＊山梨地区宣教司牧委員会

第3回 10月24日（日）14：00 甲府教会

第4回 2月20日（日）14：00 甲府教会

＊一粒会大会

11月3日（木）浜松聖星高等学校 中止

＊甲府教会堅信式

11月28日（日）地区懇談会 中止

4. 横浜教区宣教司牧評議会から

池田評議員より、評議会はコロナ禍のため、昨年11月以降開催できていない。

教区懇談会の開催日程は決まっているが、コロナ禍のため開催の決定はされていない。

本の紹介

「祈りのはこぶね」

自ら祈る力を育てる部門 東海林美佐子



7月の山梨地区宣教司牧委員会でこの部門の3人小池さん（韮崎教会）宮澤さん（甲府教会）で、どうしたら自ら祈る力を育てられるのか話し合いました。

そこで、まず第一歩としてこの本の紹介をすることにしました。

どのように祈ったらよいかわからなくなった時、助けになる本だと思います。

人それぞれの生活があり、心の状態や生きる姿勢もちがいます。

自分にいま1番ぴったり合った祈りは？

そんな時ヒントになる本だとも思います。

目 次

はじめに 祈りを教えてください

祈りは共にいること

祈りは聴くこと

祈りはイエスと出会うこと

祈りは感謝である

祈りは悔い改めること

祈りは選ぶこと

祈りは工夫するもの

祈りは願いである

祈りは嘆きである

祈りは安らぎである

祈りは思いおこすこと

祈りは毒である

祈りは委ねである

祈りは望むこと

終わりに その実によって

祈りのはこぶね

著者 英 隆一郎（はなふさ りゅういちろう）

イエズス会司祭 ドンボスコ社

650円（税別）

購入希望の方は、共同購入しますので、9月25日、東海林美佐子まで
お願い致します。

教会委員会記録

8月8日

ミサの後、山本委員長より下記の報告がありました。

1. 8月～9月の典礼について・・・9月は「こよみ」6ページ参照
2. 新型コロナウイルス感染症対策中におけるミサ中止について
山梨県の緊急事態宣言及び、まん延防止等重点措置の発令、近隣クラスター発生時、
① 山梨県70名以上臨時特別要請22日まで、②近接緊急事態宣言、③他県から夏休み外部
来訪のおそれ
など上記の理由から、8月29日までミサ中止とする。
3. 第2回山梨地区宣教司牧委員会報告・・・3ページ参照
4. 2022年度予算案作成
財務より各係の方々に予算申請書をお配りするので、9月12日までに各係の中で話し合っ
ていただき、財務に提出いただく。
特に修繕の委員の方々には予算書を各位にお配りするので、フェンス・塀の補修などご検討
をお願いします。
5. マリア像（幼稚園）について
教会入り口（風除室内）移動の案 塗装修復見積もり
6. 敬老のお祝いについて
新型コロナウイルス感染が拡大しているため、昨年同様お茶会はせずに、ミサに与って
いただいたのち、記念品などを持ち帰って頂く。

お知らせ

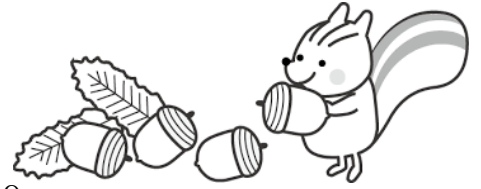
皆様のご協力のもと、見守り続けておりました「2021年ツバメの子育て第2弾」ですが、
残念ながら暴風雨の日に巣が壊れてしまい、ヒナたちの姿が見えなくなりました。

これも厳しい自然の摂理と思います。ご報告とご協力の感謝を申し上げます。



こ よ み

2021年9月



3日（金）初金曜日ロザリオ10:00 ミサ10:30

5日（日）年間第23主日 ミサ9:30 教会委員会

被造物を大切にする世界祈願日

（聖堂掃除は吉田地区・河口湖地区）

8日（水）手芸会 9:30

12日（日）年間第24主日 大掃除（ワックス）

山梨県のまん延防止等重点措置のため、12日までミサは中止となります。

19日（日）年間第25主日 ミサ9:30 敬老のお祝い（お茶会なし）

（聖堂掃除は山中・忍野地区）

26日（日）年間第26主日 ミサ9:30 世界難民移住移動者の日（献金）

ヨハネ祭は学園のみで開催

（聖堂掃除は吉田地区）

聖書を読もうは、9月もお休みさせていただきます。

イタリア語教室 月曜10時 13, 27日（感染状況によりお休み）

日曜学校 夏休み

10月

1日（金）初金曜日ロザリオ10:00 ミサ10:30

聖テレジア（幼いイエスの）おとめ教会博士

3日（日）年間第27主日 ミサ9:30

10日（日）年間第28主日 子供と共に捧げるミサ9:30 教会委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況で、変更の可能性があります。

変更の際は、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします

9月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	検温
5	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	江守香代子	志村
12	大野 隆	東海林義夫	弘貴	小山田 匡宏	曾根美香	江守
19	江守香代子	山本一孝	一雄	渡辺幹雄	相沢千代子	東海林
26	東海林美佐子	東海林義夫	弘貴	宮本二郎	小松二三子	宮本